

指定管理者モニタリングシート

【評価年度】 令和 7 年度

【 1. 施設概要】			
施設名	開成町グリーンリサイクルセンター	施設所管課	環境課
指定管理者名	共和衛生工業グループ	現指定期間	R7～R9 年度
【 2. 評価基準】			
《項目別評価》			
項 目			評 価
町の要求するサービス水準以上の成果がある			A 評価
町の要求するサービス水準の最低限度を実施			B 評価
町の要求するサービス水準に達していない			C 評価
《総合評価》			
項 目	評価基準（項目別評価）	評 価	
サービス水準が高い	A が 8 割以上（A・B のみ）	S 評価	
サービス水準が適正	A が 5 割以上 8 割未満（A・B のみ）	A 評価	
サービス水準が最低限度	A が 5 割未満（A・B のみ）	B 評価	
サービスの見直しが必要	C が含まれる	C 評価	
【 3. 評価項目】			
《項目別評価》			
項 目	自己評価	施設所管課評価	
（1）事業運営			
① 施設運営に関する基本方針が明確である	【 A 】	【 A 】	
② 協定書、事業計画書に沿った事業運営がされている	【 A 】	【 A 】	
③ 長期計画等、町の施策方針に沿った運営がされている	【 A 】	【 A 】	
④ 緊急時対応マニュアルが整備されている	【 A 】	【 A 】	
⑤ 個人情報保護が徹底されている	【 A 】	【 A 】	
《評価理由》※評価を決定した理由と補足意見を記載			
指定管理者自己評価 基本方針である「環境に優しい町”資源循環型社会の構築」に基づき、『生ごみ』『剪定枝』を有効な有機質資源ととらえ『堆肥化』し、生産された堆肥を、販売、農業で再利用している。定期的な調整会議を通じて常に町の施策に沿うように運営を行っている。 また、緊急対応マニュアル、個人情報保護のルールを徹底を引き続き行うとともに、R7 年 5 月には、同年 6 月に施行された改正労働安全規則に対応し、「熱中症対策マニュアル」を新規に制定し、熱中症予防対策と熱中症患者発生時の報告体制の運用を開始した。			

施設所管課評価 もえるごみの減量化・再資源化の理念に基づき、生ごみ、剪定枝を堆肥化・チップ化させることで資源循環に資する事業運営を適切に行うことができている。また、熱中症対策マニュアル策定するなど、職員の労務管理を適切に行えていることからA評価とした。		
(2) 施設管理		
① 衛生的な施設管理がされている	【 A 】	【 A 】
② 防犯・防災対策（設備）がされている	【 A 】	【 B 】
③ 備品の適切な管理がされている	【 A 】	【 A 】
④ 自然環境への配慮、緑化の推進がされている	【 A 】	【 A 】
《評価理由》※評価を決定した理由と補足意見を記載		
指定管理者自己評価 施設管理にあたっては、清潔な施設となるよう掃除を徹底し、防犯防災対策としては施設の施錠管理の徹底を行っている。備品管理については必要十分なものを適切なタイミングで仕入れており、過不足なきよう在庫管理を行っている。		
施設所管課評価 定期的に草刈りなどを実施し、常に施設周辺や敷地内の清掃を行っている。備品については、適切に管理しており、設備に不備が生じたときには適宜修繕を行い、運営に支障を来さないよう努めている。一方で、堆肥の熟成槽内で令和7年10月5日に火災が発生した。消防署からは、①堆肥の過剰積み上げ、②消火器の未設置、③消火器看板の未設置の3点について、指摘があった。現状、指摘事項については、改善が図られているが、重大事態を引き起こしかねない事案であったため、以後このようなことがないよう十分注意してほしい。		
(3) 利用者の満足度		
① 町民に対する平等なサービス提供がなされている	【 A 】	【 A 】
② 苦情・要望の把握・対応が適切である	【 A 】	【 A 】
③ 利用者等の評価が良好である	【 A 】	【 A 】
④ 利用者数の目標が達成されている	【 A 】	【 A 】
⑤ 地域社会等との連携が良好である	【 A 】	【 A 】
《評価理由》※評価を決定した理由と補足意見を記載		
指定管理者自己評価 顧客サービスは、事務員に丁寧な接客を心掛けるよう指導を行っており、一定の評価を得ている。お客様からはお褒めの言葉含めご意見を賜り、常にサービス改善に努めている。また、近隣にお住まいの皆さま、事業者の皆さまに、本事業活動を広報するために、WebサイトやSNSを活用する予定であり、準備を進めている。		

施設所管課評価

日頃、丁寧な対応を心掛けていることから、苦情が役場に来ることはない。今後もこのような状態を継続できるように努めてほしい。なお、要望では、竹など堆肥に向かないものの搬入要望が多く寄せられているので、資源化の研究を検討してほしい。

(4) コスト管理		
① 適切な会計処理がなされている	【 A 】	【 A 】
② 経費縮減への効果がある	【 B 】	【 B 】
③ 収支計画が達成されている	【 B 】	【 B 】
④ 財務診断結果	【 B 】	【 B 】
《評価理由》※評価を決定した理由と補足意見を記載		
指定管理者自己評価 独立した管理会計及び予算業務を行っている。経費については機器の老朽化や修繕費等がかさむ中、最大限縮減を行いながら、収支計画を達成している。売上拡大に向け、今年度は丹沢湖三保ダムにおける流木の処理事業を検討している。		
施設所管課評価 適切な予算管理を実施し、施設の老朽化に伴い修繕料が増加傾向にあるなか、最大限の費用縮減を行いながら、収支計画を達成している。一方で、現在の指定管理期間が令和7年度から令和9年度末までとなっており、すでに1年が経過した。今後は、経営改善に向けた行動が求められてくる状況になってくる。売上向上のためには、搬入量の拡大が必須なため、搬入量拡大に向けて検討、行動をお願いしたい。		
(5) その他		
①	【 】	【 】
②	【 】	【 】
③	【 】	【 】
《評価理由》※評価を決定した理由と補足意見を記載		
指定管理者自己評価		
施設所管課評価		
《総合評価》		
	【A】	【A】

【４．評価・意見】
（１）指定管理者自己評価
① 努力した点・成果等
・修繕費削減のため設備や重機を可能な限り自前で修理、改装した。 ・サンプル堆肥を無料で配布し、積極的に施設の認知活動に取り組み製品堆肥の販売促進を行った。 ・堆肥や副産物の有効活用法を模索、研究している。 ・定期的にスタッフに教育を実施し、接客マナーや住民サービスの向上に努めた。
②改善すべき点
・搬入車両の構内動線において一部不明瞭な部分があるため表示看板を設置するなど、案内を強化すべきであり、対応を始めている。 ・これまでボランティアで行ってきた作業（重機を使つてのトラックからの荷下ろし、本来は顧客が行う作業）にて顧客の車を傷つけてしまうトラブルが以前から度々発生し、修理対応をしている。免責を前提としたボランティアである旨文書化して事前了解をもらうなど、トラブル防止策を取りたい。
（２）施設所管課評価
①評価すべき点
施設の老朽化により、修繕料等の経費がかさむなか、財政の健全化努力を実施しているところは評価する。また、突発的な機械の故障にもすぐに対応し、堆肥化・チップ化業務に支障を来さないよう努力している点は評価できる。
②指導すべき点
堆肥の熟成槽内で令和７年１０月５日に火災が発生した。消防署からは、①堆肥の過剰積み上げ、②消火器の未設置、③消火器看板の未設置の３点について、指摘があった。現状、指摘事項については、改善が図られているが、重大事態を引き起こしかねない事案であったため、以後このようなことがないように十分注意してほしい。
【５．総評】
経営改善に向けて、新たに搬入できる事業者を開拓し、処理できるか検討を開始している点は評価する。また、令和８年５月から開始した堆肥サンプルの無償配布の準備を令和７年度中に進め、好評を得ている点も評価する。 今後の施設経営や施設のあり方について、町と十分協議し、経営改善につながる施策の打ち出しを期待する。